



とっぱずれ



銚子東ロータリークラブ Weekly Bulletin NO. 2523



白鳥（夏目の堰）

第2523回 例会 令和7年1月21日

点 鐘 … 大木 啓嗣 会長
ロータリーソング … それでこそロータリー
来訪ロータリアン紹介

… 親睦活動・家族委員会

会 長 挨拶 … 大木 啓嗣 会長

御 祝 披 露 … 大木 啓嗣 会長

誕 生 祝 … なし

結婚記念日 … 釜谷 藤男 会員(1月15日)

詫間 堅司 会員(1月15日)

木村 貞夫 会員(1月21日)

入会記念日 … なし

幹 事 報 告 … 島田 博之 幹事

ニコニコBOX … 親睦活動・家族委員会

卓 話

「生活保護～誤解が多い最後の
セーフティネット～」

銚子市社会福祉課 副主幹 笠上 寛行 氏

出 席 報 告 … 出席・プログラム委員会

第7回定例理事会（例会終了後）

来週のプログラム（令和7年1月29日（水）

合同例会「銚子プラザホテル」点鐘18:00

卓 話

「Air Line Pilottito」という仕事と

それを目指す若者の訓練

千葉科学大学 危機管理学部

航空技術危機管理学科 教授 津村 準 氏

*1月28日（火）は29日（水）に振替



THE MAGIC OF ROTARY

ロータリーのマジック

2024-2025 年度 RI 会長 ステファニーA. アーチック

第 2522 回例会(令和 7 年 1 月 14 日)

会長挨拶

大木 啓嗣

俳優の真田広之さんが主演・プロデューサーの米ハリウッド制作ドラマ「SHOGUN 将軍」が 1 月 5 日、優れた映画・ドラマなどを称える米ゴールデングローブ賞で 4 冠を達成しました。製作陣が「本物の時代劇」を志向した作品が、米国を代表する賞で高く評価された。戦国時代の日本を忠実に描くための提案をし、撮影現場では日本の時代劇スタッフが奮闘した。その視点を米国の製作陣が受け入れ、生かした結果だと言われています。セリフの 7 割が日本語ということからも力の入れようが伝わってきます。英語の字幕が入ったドラマはアメリカ人には好まれないという危惧もあったそうです。杞憂におわり、歴史ドラマの新たなスタンダードを築いた意欲作として注目を集めています。現在はディズニープラスの配信のみで視聴できます。主演男優賞を受賞した真田さんはそのスピーチで、「私の功績を認めてくださり、ありがとうございます。素晴らしい候補者の皆さんとここにいられることをとても幸せに思います」と述べ、世界中の若い俳優やクリエイターに向けて「どうか自分らしくいてください。自分を信じて、決して諦めないでください。幸運を祈っています」とメッセージを送りました。

真田さんがハリウッドに進出したのは 2013 年公開、トムクルーズ主演の「ラストサムライ」です。この作品に参加した際にハリウッドが描く日本(特に戦国時代)に疑問を抱いていたようです。そうした経験から作品の美術やセリフに至るまで細部にこだわり、「日本人が観て納得できるものに」することを目指しました。この本物の時代劇は世界中で受け入れられ、多くの視聴者を魅了しました。続編の制作も決定したようで、さらなる活躍を期待します。

さて、今年の NHK 大河ドラマ「べらぼう」は江戸の出版王と評される蔦屋重三郎が主人公です。彼は書籍や浮世絵を出版する版元の経営者であると同時に自ら編集を手がけ、多くの話題作を世に送り出した敏腕プロデューサーでもありました。重三郎のもとで開花した才能は数知れず、喜多川歌麿、葛飾北斎、山東京伝、十返舎一九、東洲斎写楽などその多くが百花繚乱な江戸文化の担い手として名を残しています。文化が花開くためには、豊かな才能をもつプレイヤーはもちろんのこと、その才能を最大限に引き出すプロデューサーの存在が不可欠です。現代日本が世界に誇る文化である漫画も、編集者が果たす役割が大きいことで知られています。たとえばストーリーを考えるのは得意だが絵はいまいとつな漫画家と絵はうまいがストーリーをつくるのが苦手の漫画家を編集者が引き合せて、前者が原作、後者が作画を担当したら大ヒット作になった。こうした事例はよく耳にします。

人と人を結びつけることで化学反応をおこし、とてつもない発想や作品を生み出して、世の中の流れを変えるムーブメントを作り上げていく。これがプロデュース力であり、重三郎はその才覚が突出していました。

彼の生涯を描いた時代小説「稀代の本屋 蔦屋重三郎」は江戸で貸本屋を始めた 20 代のころから物語が始まります。しかし貸本屋は彼にとってあくまで通過点。いずれ版元になり、自分の手で作品の企画から販売・流通まで手掛けたいと野心を抱いていました。自分ならもっと面白いものや新しいものを世に出せる。その思いが彼の原点にあります。実は重三郎は通称で本名は「からまる」というのですが、名前の由来を聞かれると彼はこうつぶやいたと言います。
「ツタが絡まるのは自然の摂理。江戸中を蔦屋の本で覆い尽く

してしまいたい」これが彼の描くビジョンでした。その後出版人として第一歩を踏み出した重三郎は「近いうちに黄表紙全盛の時代が来る」と予想します。黄表紙とは滑稽や洒落を交えた挿絵つきの本で、出版するには優秀な書き手と絵師の両方が必要です。そこで重三郎はどのような手を打ったか。答えは「本屋であがった利益を惜しむことなく次の作物のための投資にあてた」です。既刊の出版物が売れて入ってきたお金を使い、これぞと狙った文人や絵師を招き、酒を酌み交わしながら作品のアイデアを語り、相手の考え方や人となりを知る。これが重三郎の投資戦略でした。「いずれこういう縁が積み積み爆発していくのだ」プロデューサーにとって人と人を結びつけ、縁をつくる力が何よりも重要であることを彼は理解していたのでしょう。現代では職場外のコミュニケーションが敬遠されがちですが、職場とは別の場に集まり、「次はこんな企画をやってみよう」といったアイデアや思いを語り合うのは楽しいものです。こうした場を率先してつくってくれる人がいると、そこから縁がうまれ、新しい仕事につながりやすくなります。

重三郎が多くの縁を生み出したのはどんな相手とも真正面から向き合ったからです。作者や絵師は個性派ぞろい、なかには扱いづらい人もいましたが「語らいは本屋の大事な柱」をモットーに、ある時は叱咤し、ある時はなだめながら相手の才能を高めへと引き上げていきました。確かな画才をもちながら、理想の絵をかけずに伸び悩んでいた喜多川歌麿には、こんな言葉で激励します。「蔦屋重三郎が見込んだのは喜多川歌麿。あんたを日本一の絵師にしてみせる」実際に歌麿は才能を開花させ、現在では日本だけではなく、世界にその名を知られる巨匠になったのですから、重三郎の功績は計り知れません。重三郎自身は文章を書くのがうまいわけではなく、絵が得意なわけでもなく、狂歌をつくらせても面白くない。自分だけでは何もできないに等しい人物です。しかし、目指すビジョンがあり、その実現に必要な才能を見出して育てる粘り強さがあり、才能同士を組み合わせる傑作を生み出す力がありました。

ビジネスシーンでも上司が部下の強みや個性を見抜き、「君たち二人でコンビを組んでみたらどうか」と結びつけられ、おもしろい仕事をしてくれるかもしれません。もしプレイヤーとして自分に才能がないと悟ってしまったとしても、縁を大事にして人と人をつなぐ力を磨けば、プロデューサーとして活躍できる可能性は十分あるのです。稀代のプロデューサー蔦屋重三郎の活躍をご覧になってはいかがでしょうか。

日本の七十二候を楽しむより

1月10日～14日ころ

水泉(すいせん)うごく…地中で凍っていた泉がうごくころ

10日まで備えた鏡餅は11日に鏡開きします。

幹事報告

1・ガバナー事務所より

- ・会員増強・退会防止セミナー開催のお知らせとアンケートご協力をお願い

- ・第48回RYLAセミナー参加 再募集のご案内

- ・ローターアクト第4回会長幹事会の案内 受領

2・ロータリー米山記念奨学会より

- 2024-2025 年度下期普通寄付金のお願い 受領

☆会報受領 八日市場 RC

卓 話

「時代の移り変わり」

銚子税務署 署長 鈴木 邦典 氏

皆さんこんにちは、ただいまご紹介頂きました、銚子税務署の鈴木でございます。銚子東ロータリークラブの皆様方には、日頃より、税務行政に対しまして、ご理解ご協力を頂き誠に有難うございます。この場をお借りしまして、厚く御礼申し上げます。ほんじつは、少しお時間を頂きまして「時代の移り変わり」というお話をさせて頂きたいと思っております。税務署の立場も踏まえながら、皆さんにも少しご検討頂けませんか？というようなお話になっておりますが、昔を懐かしみながら少し耳を傾けて頂けたら幸いです。

さっそくですが、自己紹介をしながら始めたいと思います。

私は、1967 年、昭和 42 年生まれでございまして、東京の練馬区という場所で、生まれ育ちました、当時を振り返りますと、今はなくなったなーと思うようなものがまだ沢山あった時代に生まれ育ちました。(レコード・カセット・百科事典)

父も母も商売屋で育ち、弟が2人いるのですが、いずれも商売をしており、サラリーマンは私1人と言う環境にあります。

税務署には、平成 2 年の 4 月に採用となりましたが、当時は消費税の導入やバブル景気で世の中が大騒ぎしている状況で、就職と言えば金融・証券関係へと言う時でした。

ここで、一つの指標をご覧いただきたいと思います。この表は、世界企業の時価総額ランキングです。わかりやすく申し上げますと、その会社まるごと買うためにはいくら必要ですか？と言う感じです。表の左側が、バブルと言われた平成元年です。世界のトップが NTT で約 21 兆円、しかも群を抜いて首位であったことが分かります、また、TOP5 を見ましても日本企業が独占している状態となっていました。

NTT は、昭和 62 年に上場を果たし、全国民を過熱させた株式ブームの象徴でした。当時の初値が 160 万円でしたが、2 ヶ月後には 318 万円にまで上昇するなど、皆さんもこぞって、お買いになられたのではないのでしょうか？

更にみてみますと、上位 40 社中 24 社が日本企業、内 12 社が金融機関となっています。2 位の日本興業銀行をはじめ、住友銀行、富士銀行、第一勧業銀行など当時の名前を見ますと懐かしい気がする方も多いのではないのでしょうか。当時は金融全盛でしたが、今振り返りますと、こんなに銀行が淘汰されるとは想像もしていませんでした。全体を見て頂きますと、まさにバブル時代の日本の繁栄を象徴していたと表と言えるのではないのでしょうか。

近年は日本でも株価が 4 万円台とされる時代ではありますが、企業ごとの時価総額を見ますと世界とは大きな隔たり生まれてしまっています。ご覧のとおり、日本企業はトヨタ自動車の 1 社がランクインするのみとなっています。ランキングには世界的にメジャーな IT 企業が 13 社入っていきまして、今まさに IT にけん引されている世の中だということが認識頂けるかと思えます。具体的には、横文字の知らない会社ばかりと思われるかもしれませんが、1 位は皆様ご存じのとおり、iPhone で有名なアップル社 432 兆円ですね。2 位は Windows で有名なマイクロソフト社、4 位がグーグルで有名なアルファベット、5 位がネッ



ト通販で有名なアマゾンですが、実は巨大な IT 企業なんですね。続きまして、6 位は、今、アメリカ株の代表格となっております半導体製造で有名なエヌビディア、15 位をご覧いただきますと熊本進出で話題となりました、台湾の半導体製造大手 TSMC となっており、皆さんも、熊本の工場周辺の畑が高層マンションにですとか、無人駅に毎朝大量の人が通勤など、地域が大パニックとなっているニュースをご覧になった方も多いのではないのでしょうか。

今ご説明いたしました、2 つの産業であるソフトウェア開発と半導体製造は、いまや、私たちの生活になくてはならないものとなっています。例えば、身近な物で言えば、スマホ、クーラー、給湯器、自動車など上げればきりがありません。また、間接的にも、あらゆる製造工程の機械のほぼ全てに半導体やプログラムが利用されています。

では、なぜ、世界的優良企業が生まれたのか、それは、世界の皆さんが利用するものに使われている、ソフトウェアや半導体を開発し、それを使わなければという状況を生み出してしまったからではないのでしょうか。特に中国では、スマホで使われているグーグルや IOS の利用をあきらめ、独自のソフト利用を推奨したり、世界各国で色々なもののマーケットシェア争いが相当、熾烈になっています。現在、中国は 14 億人の人口を有し、統制もしていますので、ソフト利用数としては相当脅威です。

他にも、インドが 14 億人の人口を有し、いま、世界戦略上最も注目を浴びているところだと言われている。中国経済がひと段落してしまったことや統制が厳しいことから、海外企業が中国からインドへとシフトしているそうです。インドもなかなか進出しにくい地域のようなのですが、14 億人の人口や労働人口の平均が世界的にみて非常に若いことから、非常に魅力的な国となっているようです。世界で使われるような仕組みを開発した会社は、爆発的に成長する傾向にあるのです。ですから、世界標準となるために、大国同士が覇権を争っている。その最たる例が、中国とアメリカなのではないのでしょうか。

こちらは、世界の人口推移です。爆発的に増加している傾向がお分かりいただけるかと思います。この覇権争いに、人口推移が大きく関係しているのです。

おそらく次は、インド、南アフリカのナイジェリア、コンゴ民主共和国、など、爆発的に人口の増えている国が、世界中から注目されるとともに、どこの国と手を組むと得なのかで、駆け引きが世界情勢となっている気がします。

では、少し日本に目を向けてみようと思います。いま日本は、空前の DX (デジタルトランスフォーメーション) ブームとなっております、コンサルタント会社や IT 系の会社はおお忙しで、IT 人材が不足だと言われている。それぞれの企業内においても自前の育成が急務となっています。皆さんも、様々なところで IT 化の波を感じているのではないのでしょうか？

身近な例でいえば皆さんもお使いの、PAY・PAY ですとか d払い、WAON などの電子決済の拡大や、アマゾン、楽天などのインターネット取引の拡大、また、金融機関の口座開設、住宅資金の借入など、もはや、スマホ一つで完結し、窓口には出向かないものまで出てきています。

しかも、これらデジタル社会を見据えて、金融機関の支店の統廃合や ATM の削減など、身近にこの波を感じていらっしゃる方も多いのではと思います。皆さんも取引先との関係においても、DX (IT) 化が求められているのではないかと思います。

ではなぜ、この様に DX (IT) 化が騒がれ始めたのでしょうか？色々な、理由がありますが。大きな理由として一つは、日本の労働人口の減少です。日本は徐々に人口が減少し

ており、労働人口が確保しづらくなってきています。

日本の人口数が表示されています。ご覧のとおり、年々人口が減っていることが見て取れると思います。

参考ですが、こちらが各市の人口推移です。ご覧になられてどのようにお感じになられるでしょうか？

銚子は、現在が5万8千人、2050年には2万8千人

旭は、現在が6万3千人、2050年には4万5千人

匝瑳は、現在が3万5千人、2050年には2万人です。

この様な、人口推移もあり、事業によっては、決まっていることや簡易なもの、機械仕掛けに任せて、浮いた人員を他に回さないと、事業が回らない状況になってきているのです。

ここで、私が感じた、人が足りないという例を申し上げます。例えばファミレスです。席は空いているのに、案内する人員がいない、食べ終わったものを片付ける人がいないなど、お感じになられた方はいないでしょうか。場所によっては、配膳ロボットが店の中をうろつくようにもなってきましたし、注文もタブレットなんてゆうのもだいぶ増えているかと思えます。

他にも、電気の検針です昔は人が検針して回っていましたが、今は自動検針となっています。これからガス・水道もその様にしていこうです。あげればきりがありませんが、ガソリンスタンドもすっかりセルフとなりましたし、ユニクロでは自動レジなど、昔と比べれば相当様変わりしており、今まで、人が関わっていた仕事で、自動化できるものは機械へと、あらゆるところで、IT化によって人材を有効活用しようと言う流れになってきているのではないのでしょうか。いままさに人が足りないので、定年を延長するとか、出産後の離職を回避する、勤めやすい環境を整えるなど、労働人口を増やそうと各企業が必至なのです。

また、最近では、時給を高くしないと、ですとか、労働環境を良くしないと、ですとか、希望する業務につかせないと、ですとか、働く人の要望に合致するものがないと人が集まらない状況となってきています。ニュースで話題にもなりましたが、優秀な人を集めようと、初任給から超高額な報酬を出すといった企業も沢山出てきています。昔は、給料が高いことに魅力を感じていたと思いますが、今は、働く人の価値観にあった企業に勤めるといった人たちも多くなっているそうです。

この様な状況から、限られた人材を有効に活用しない企業は、生き残れない時代がすぐそこまで来ているのかもしれませんが。皆さんの、ご事業も徐々に、人手が必要な部分と、省ける部分、機械化できる部分など、大きく見詰めなおさなければいけない時代なのかもしれません。

ここで、国における取組を少しご紹介いたします。

国も、御多分に漏れず、すごいスピードでデジタル化を推奨し、推し進めています。

「政府の取り組み(抜粋)」

なぜデジタル・ガバメントが求められているのか

さらに、日本では少子高齢化が大きな課題となり、地方では

過疎化が進む町が増えています。住民の人口が減っても、自治体が管理する地域の広さや業務の量が大きく変わることはありません。しかし、住民の人口が減れば、財源は少なくなり、職員の数も減少します。このため、住民に十分な行政サービスを提供するには、従来と同じ業務の進め方では対処できず、業務プロセスの変革による効率化が必須になるのです。

この様な理由から、国はデジタル化を推進しているのです。

あまり知られていないかもしれませんが、国家規模で言えば、地方自治体で保有するシステムデータを全国統一化しようと非常に大きなプロジェクトが進行中で、総務省とデジタル庁、地方自治体が一丸となって自治体のデジタル化が推進されています。賛否ありますが、マイナンバーもその一つですし、人を介在させずにスムーズな行政をと言うことなのかもしれません。

このような、国の大方針に基づき、国税庁におきましても、あらゆる面でデジタル化を推進しております。

国税では現在、所得税・法人税・消費税・源泉税などほぼ全ての申告が、E-Taxで電子申告、また、ほぼ全ての納税も電子で納税できる仕組みになっております。いま、国税庁は「税務署に行かずにできる確定申告」を目指し、様々な取り組みを実施している、ということです。当然、電子化を進めることにより、納税者の方々の利便の向上はもとより行政効率の向上にもなりますし、さらには、書類等を電子化することにより、大幅なコストカットをも実現できるとも考えています。

是非皆さんも、お話の中で申し上げました、人のちからの有効活用を念頭に、業務や事務の効率化を検討してみたいかがでしょうか。ITの導入に当たっては、補助金の対象となるものも多数ありますので、興味のある方は、地域の商工会議所に相談してみてください。

長々と、ご清聴ありがとうございました。

前回の例会(1/14)報告

点 鐘 大木 啓嗣 会長

出席報告

会員総数 30 名 出席規定除外数 3 名

出席者 19 名 出席率 67.86 %

12月17日 確定出席率 100 %

来訪ロータリアン 大里忠弘君 (銚子RC)

欠席者 7名

メイクアップ 大木君 (1/18 国際セミナー)

スモールコインBOX 小 計 ￥ 1,900-

累 計 ￥ 35,570-

ニコニコBOX 累 計 ￥ 87,564-

銚子東ロータリークラブ

銚子市三軒町19番地の4 銚子商工会館4階 TEL0479(23)0750 FAX0479(25)8789

メール c-higashirc@tcs-net.ne.jp URL <http://www.tcs-net.ne.jp/~rc>

例会日時及会場 毎週火曜日 12時30分点鐘 銚子商工会館5階大会議室

会長 大木啓嗣 副会長 飯田貴之 幹事 島田博之

クラブ広報・会報委員会 石井哲也・澤田武男・杉浦 武

表紙題字 網中喜一郎初代会長

R. I 第2790地区

ほととぎす 銚子は国の とっばずれ

古 帳 庵

江戸小網町の豪商鈴木金兵衛夫婦(古帳庵 古帳女)が銚子に遊んだときに詠んだもので、この碑は圓福(円福)寺に現存する。